

2019年12月20日

日本ユニシス  
「女性が輝く先進企業表彰」において  
「内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰」を受賞  
～女性社員の人財パイプライン構築を目的とした取組が評価～

日本ユニシスはこの度、内閣府男女共同参画局による「令和元年度 女性が輝く先進企業表彰<sup>(注1)</sup>」において、特に顕著な功績があったと認められる企業として「内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰」を受賞しました。



女性が輝く  
先進企業  
2019

【評価のポイント】

日本ユニシスは、従来のお客さま要求に基づくシステム開発を行うシステムインテグレーション中心のビジネスモデルから、「ビジネスエコシステム」を創出し社会課題を解決する企業への変革を進めています。業種・業界の枠にとらわれない多様な価値を持つステークホルダーをつなぎ「ビジネスエコシステム」を創出するためにはダイバーシティが不可欠との考えから、経営戦略を支える重要な柱の1つとしてダイバーシティ推進を位置づけています。女性活躍推進はその第一歩であり、女性社員の人財パイプライン構築を目的に各種施策に取り組んでいます。この度は、以下の点が評価され受賞となりました。

- 女性社員の人財パイプライン（効率的かつ安定的に、女性の人材を生み出し続けるしくみ）の構築を目指し、管理職候補・中堅・若手の階層別に、研修・OJT等の育成プログラムを実施。
- 全社員を対象としたテレワーク制度を導入。都内3か所にサテライトオフィスを設置。さらに全国に拠点を持つシェアオフィスを利用。多様で柔軟な働き方を推進。
- 法定を上回る短時間勤務を制度化、産休・育休前後に本人・上司・ダイバーシティ推進室との三者面談、夫婦参加推奨の「産休・育休ワークショップ」開催、育休中の自己啓発として通信教育受講（補助金支給）の推奨など、両立支援を徹底。

## 【今後のダイバーシティ推進】

日本ユニシスグループでは、Workstyle Foresight<sup>®</sup>（組織・人財・働き方改革）、Diversity Foresight<sup>®</sup>（ダイバーシティ推進）、Management Foresight<sup>®</sup>（業務プロセス・制度改革）、Human Resource Foresight<sup>™</sup>（戦略的人事改革）、の4つの柱で企業風土改革を進めています。

これまでダイバーシティ施策の中心は、性別・国籍・障がいの有無・ライフイベントなどの「属性」でした。これからは属性による多様性から、「個」の多様性（一個人が複数の役割（ROLES）を持ち、その人のなかに多様性を有すること）を高めることが重要だと考えます。この度の受賞を励みに、女性活躍をはじめとするダイバーシティをより一層推進し、多様な「個」が活かされる風土を醸成することでイノベーションを起こし、価値創造につなげていきます。

以上

### 注1：女性が輝く先進企業表彰

本表彰は女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用に関する方針、取組及び実績並びにそれらの情報開示において顕著な功績があった企業を表彰するもので、「女性が輝く社会」の実現に寄与することを目的とし、2014年に創設されました。

<http://www.gender.go.jp/policy/mieruka/company/hyosyo.html>

### ■関連リンク

- ・日本ユニシスグループ サステナビリティ  
<https://unisys.disclosure.site/ja>

※ Workstyle Foresight、Diversity Foresight、Management Foresight、Human Resource Foresight は、日本ユニシス株式会社の登録商標または商標です。

※ その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)